

3月議会定例会

令和3年第1回定例会は、2月25日から3月16日までの会期で開かれた。町長から同意1件、承認2件、条例12件、予算10件、その他3件の計28件が提案され、提案された議案はすべて原案通り可決された。
また、議員提出の予算修正議案及び意見書4件も審議された。

令和3年度 一般会計予算

60億2400万円

(前年比+8400万円)

予算特別委員会を設置し審議した。

子育て支援策として、子ども医療費の18歳までの無料化や学校給食費の第2子以降への補助などが盛り込まれた。

令和3年度予算は、予算特別委員会に付託された。委員長に松本美子議員、副委員長に狛守勝義議員を選出し、4日間にわたる慎重な審査を経て原案通り可決された。なお、委員会において渋谷委員より一般会計予算に対し、DMO推進事業、聖火リレー事業、部落解放同盟嵐山支部補助金の全額を減額する等、歳入歳出それぞれ3425万円を減額する修正案が提出され、否決された。



一般会計に関する主な質疑

Q 予算編成にあたっての基本方針と重点を置いたところは

A 財政規律を堅持するなかで、町民の方々が健康で安心安全な生活を送ることができる。若い人たちが使命感を持ち生き生きと活躍できる。子育て世代が妊娠期から安心して意欲的に子育てに取り組むことができる。子どもたちが将来に夢と希望を持ち、のびのびと成長できるまちづくりを念頭に予算編成をした。その中でも子育て支援には、特に重点を置いた。

法人税の落ち込みの原因は

Q 法人税の法人税割が大幅に落ち込んでいるが

A コロナ禍の影響と令和3年度より新税率に移行し税率が下がったためである。

町債が増えているが

Q 税収減を補うために、町債発行が増えているが

A 臨時財政対策債の増が大きい。国の予算の財源不足分を国と地方が折半するため臨時財政対策債を発行することになっている。町としては約5億円まで発行できるが、それでは多すぎるかと考え4億3100万とした。

消費税の引上げ分は

Q 消費税の引上げ分は、嵐山幼稚園にも充当されるのか

A 広さ約200㎡で150台を予定している。有料化の方向で考えている。

日赤旧社屋の工事は

Q 日赤旧社屋の保存工事の内容は

A 以前修繕工事をしてから10年以上経過し、外壁にひび割れ等腐食がみられるようになった。県の補助金も使い外壁の塗装工事、屋根の漆喰の補修、木部腐食部分の補修を予定している。

川島地区の企業誘致事業とは

Q 川島地区で計画されている企業誘致事業は

A 面積は約15.2ha、地権者は70名、居住者はいない地域で、業務代



人気の学校橋河原=R3.3.23

子ども医療費の無料化を18歳まで拡大した理由は

Q 子ども医療費の無料化を18歳まで拡大した理由は

A コロナ禍で苦勞されている子育て世帯の経済的負担を、少しでも軽くするためである。(10月1日より実施)

DMOの成算は

Q 観光地域づくり法人推進事業(DMO)に6851万円の支出がされるが、成功する見通しがあるのか

A 国から5割の補助がある今後2年間で、自立して利益があげられるように取り組んでいく。



観光の柱・ラベンダー園=R3.3.23

駅西口工事の費用は

Q 駅西口広場工事にかかる費用は

A 令和3年度に約1億6000万円、完成予定の令和4年度に約1億4000万円を予定している。国からの補助もある。



工事中の駅西口=R3.3.23

学校給食費に補助

Q 学校給食費補助の金額と対象者は

A 1346万円で第2子半額分が392名、第3子全額分が76人と推計している。



日赤旧社屋の外観